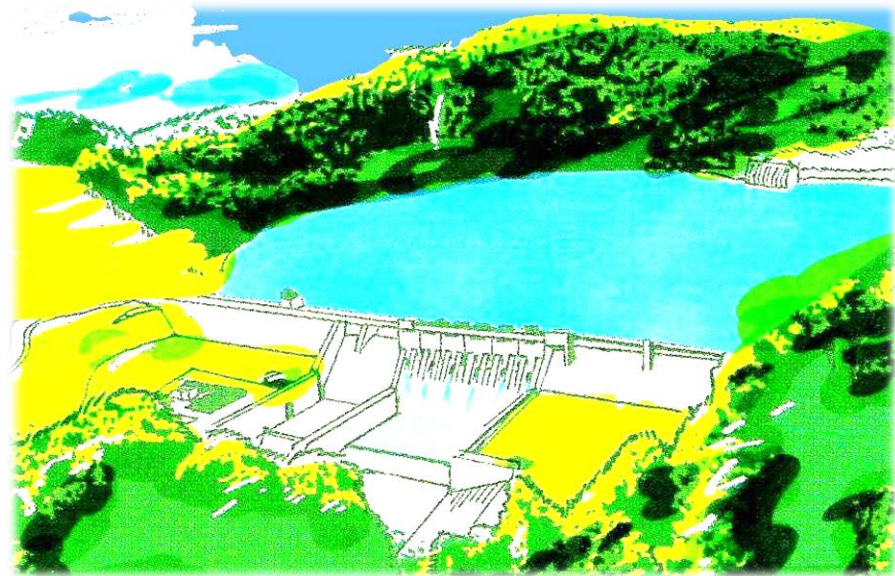


中空知の水道 と 将来への課題



中空知広域水道企業団は、北海道の中空知地方（滝川市、砂川市、歌志内市、奈井江町）を対象に水道事業を展開しています。この企業団は、3市1町の水道事業を担い、浄水場の運営や水道管の維持管理を行っています。

家庭に水が届くまで

家庭に水が届くまでの過程は、とても興味深いですね。以下に簡単な流れを説明します。

- ・ 空知川から取水

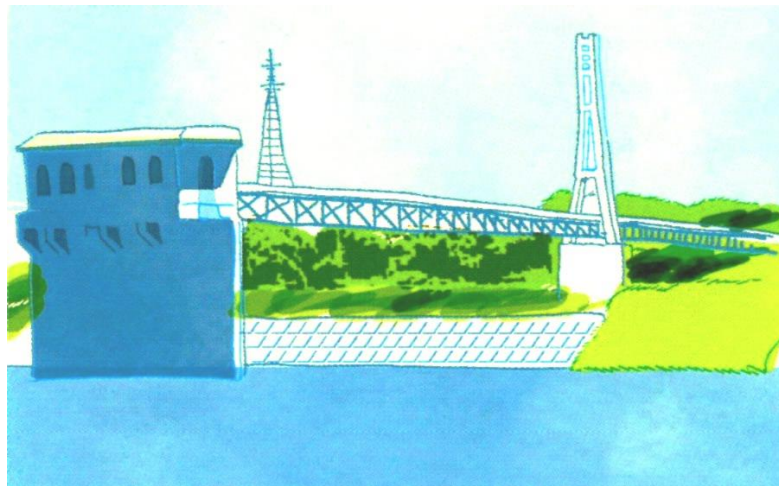
空知川は、南富良野町、富良野市、上富良野町、中富良野町、芦別市、赤平市、滝川市にまたがり流れ、石狩川水系石狩川支流の中で最も長く広い流域面積を持つ川です。ここから取水し浄水場に向かいます。



家庭に水が届くまで

- ・ 砂川市富平にある浄水場での処理

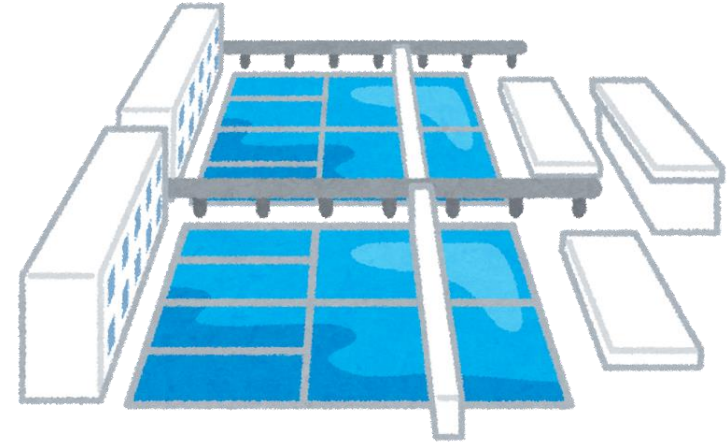
水を浄化し、安全に飲める状態にします。ここではろ過や消毒などの工程が行われます。



家庭に水が届くまで

- ・各市町の配水池やポンプ場へ移動

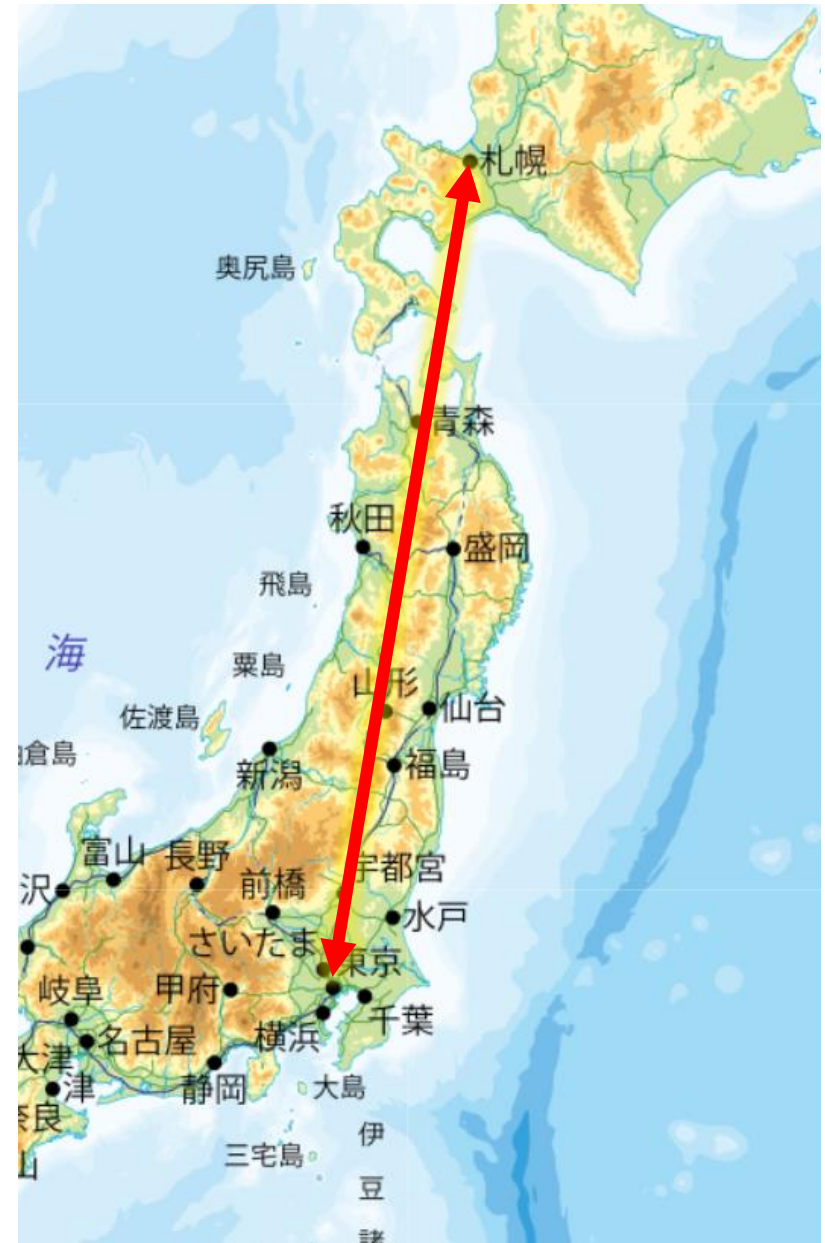
浄水場できれいにされた水は、使用量に合わせムダなく配るために、企業団が運営する配水場内にある配水池にいったん溜めておきます。そして、土地の高低差を利用した自然流下方式やポンプ施設などによって各家庭にお届けしています。これらの作業は、すべて「中央管理室」のコンピュータで集中的に管理して行われています。



家庭に水が届くまで

- ・ 水道管を通して各家庭へ

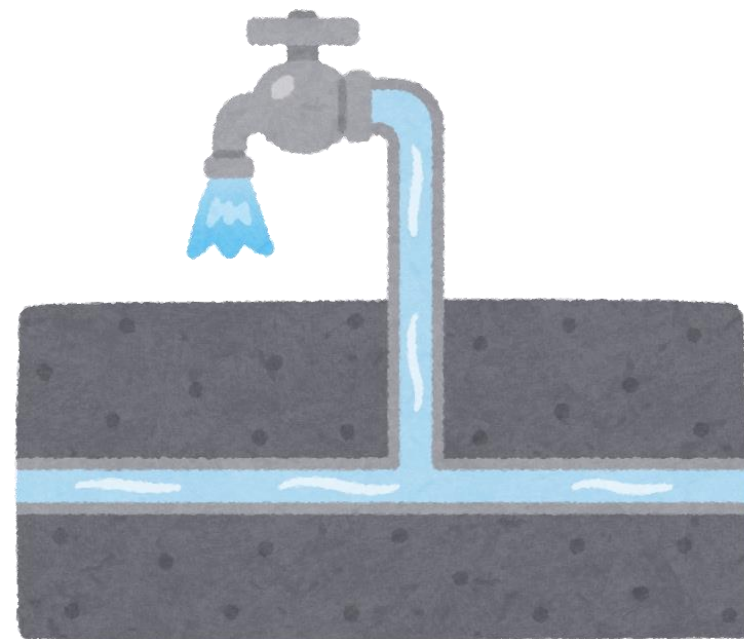
水道水は、配水場・ポンプ場から配水管や給水管を通して各家庭まで運ばれます。企業団が担当する地域の配水管の長さは約829キロメートル（令和6年3月現在）。これを直線距離にすると、札幌駅から東京駅までの直線距離に相当します。



家庭に水が届くまで

- ・ 水道管を通して各家庭へ

皆さまに安全できれいな水道水を安定してお届けできるよう、企業団では定期的に管を点検し、古い管を新しい管へ取り替える工事を行っています。



家庭に水を届けるまでの設備や配水管の老朽化が課題となっています。

- ・施設の維持管理費の負担増

人口が減少しても、既存の水道施設を維持する必要があります。これにより、1人当たりの維持管理費が増加し、水を供給する単価が上昇していくことになります。

給水原価（※）	平成22年度	221.05円/m ³
	令和5年度	243.26円/m ³

続いて、水道事業の経営について少し触れてみたいと思います。



※給水原価・・・水道水を供給するために必要な経費

水道事業は、地方公営企業として 独立採算制で経営しています。



- 中空知広域企業団は地方公営企業として位置づけられており、企業としての経済性を発揮すること、本来の目的である公共福祉増進のため、地方自治体の会計と異なる民間企業会計に近い制度を採用し独立採算制で経営しています。
- 水道事業は、主に皆さまからいただく水道料金から成り立っており、水道施設の維持管理費や修繕費はこの水道料金から賄われています。

水道事業を取り巻く経営環境の変化

- 水道事業は、生活に欠かすことができない極めて重要なインフラであり、サービスを提供し続ける必要があります。
- しかしながら、給水人口（※1）の減少や物価高騰などにより、その経営環境に厳しい変化が生じてきています。
- 給水人口の減少は有収水量（※2）の減少とともに、収益の減少に直結します。

給水量（年間総有収水量）

平成22年度 6,637,135 m^3

令和5年度 6,092,044 m^3

※1 給水人口・・・水道水を利用している人口

※2 有収水量・・・水道メーターを通過し料金徴収の対象となった水量



給水人口の減少は、水道事業にとって深刻な課題です。

- ・収入の減少

給水人口が減少すると、水道料金収入が減少します。水道事業は独立採算制が基本であるため、収入減少は経営に直接的な影響を及ぼします。

給水人口	平成22年	72,052人
	令和5年	58,782人



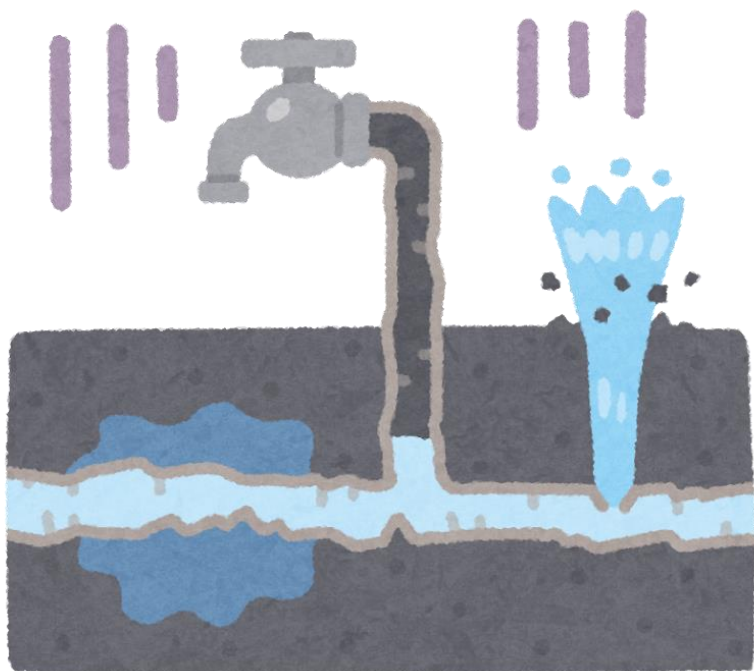
物価高騰に伴う維持管理経費の高騰

- ・水道水の供給にも物価高の影響が生じています。



円安や不安定な世界情勢など、電気・ガス等の燃料のみならず、あらゆるものが物価高騰の影響を受けており、水道水を作り、皆さまの家庭にお届けするための経費が増加しています。

物価高騰に伴う維持管理経費の高騰



- ・老朽化施設の更新問題

また、その物価高の中でも、水道管や浄水施設の老朽化は進むため、整備された施設や管路が今後更新時期を迎えることを想定し、適切かつ計画的に更新を進めていかなければなりません。

水道事業経営の今後の見通し

水道事業を取り巻く環境の変化に対し、経営健全化の取組みを推進しています。



- **水道事業ビジョン（平成31年2月策定）**

水道事業ビジョンは、安全な水道水を継続して皆さまに供給するために、水道事業の将来像を描いた長期的な事業計画です。

- **水道事業経営戦略（令和7年3月改訂）**

おおむね10年間を見通した水道事業の経営を展望し、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な基本計画です。

- **着実な更新投資の促進**

老朽化による事故などが発生した場合には、皆さまの生活に大きな影響を与えることから、水道事業が持続的・安定的に提供できるよう、着実な更新投資を進めます。

水道事業を取り巻く環境の変化に対し、経営健全化の取組みを推進しています。

• これまでの取組み

- 財源確保の方策として、不要となった貯蔵品や用地の売却
- 水道検針の隔月化による検針委託料の削減
- 保有資金の効率的運用のための有価証券への投資

• 今後

- 人口減少等を加味した料金収入の反映
- 施設の老朽化を踏まえた資産管理



中空知広域水道企業団の取組み

水道事業は皆さまの水道料金によって支えられています。

人口減少や急激な物価上昇などの影響を踏まえ、将来にわたり安定した水道供給を継続するために、経営戦略の策定を通じて、独立採算制の原則を維持し、経営基盤の強化を図ります。これらの観点から、適切な料金水準を計画的に検討してまいります。

